

霧ヶ峰ロゲイニング 2022 プログラム

今こそナビゲーションスポーツ

霧ヶ峰高原全体に30個のコントロール（目標場所）を設置します。それぞれのコントロールを通過すると得点が与えられます。制限時間内にどれだけ得点を得ることができるかを競います。コントロールを示す地図を競技前に配布します。地図を見ながら、作戦を考え、自分の力で巡ってください。初夏の爽やかな霧ヶ峰高原を楽しみましょう。競技中の移動手段は自分の足のみに限られます。

開催日：2022年 **7** 月 **3** 日（日）

会場：霧ヶ峰スキー場ファミリーゲレンデ

長野県諏訪市強清水（標高 1640m）



- 7:30 受付開始（携帯電話申告書の提出）
- 8:30 開会式
- 8:40 ソロの部 E-card 起動・地図配布
- 9:00 ソロの部 スタート
- 9:05 チームの部 E-card 起動・地図配布
- 9:30 チームの部 スタート
- 12:00 ソロの部 競技終了
- 12:15 ソロの部 表彰式
- 13:30 チームの部 競技終了
- 13:45 チームの部 表彰式

ごあいさつ

広い草原によろこそ。誰もいない霧ヶ峰で薄い空気を大きく吸い込んでみてください。

本大会では人との距離が近くなるシーンでは新型コロナウイルス感染拡大を封じ込めるよう各種対策を行います。みなさま対策にご協力いただき、楽しい競技会を実現しましょう。

参加者へのお願い

感染症が疑われるときは参加しない

以下に該当する場合は、参加を見合わせてください。

- ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

マスク着用

参加受付時や着替え時等、競技以外の際はマスクを着用してください。マスクは各自持参してください。

手指消毒

こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をしてください

人との距離は 2m 以上を目安

他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保してください。

（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）
大きな声で会話、応援等をしないでください。

公益社団法人日本オリエンテーリング協会発行の「新型コロナウイルス感染症対策」に沿って運営します。

重要事項

- ・この競技は一般の交通ルールや社会マナー、登山マナーを守った上に得点ルールを重ねたものです。マナーを守り、安全に競技してください。特に2022年は6月27日に気象庁よりこの地方の梅雨明けが宣言され、多くのハイカーがいらっしゃることが予想されます。トレイルでは譲り合いをお願いします。
- ・競技を行うフィールドは標高 1600m を超える草原が多くあります。落雷発生確率が高い場所です。雷が近づいたときは競技を中断し、自分の命を守る行動をとってください。雨や風の影響で夏でも体が冷えることがあります。天気が崩れそうときは雨具、防寒装備をもって競技してください。
- ・ソロ参加では決して無理をしないでください。体に異変があればすぐに本部まで電話してください。
- ・競技が安全に行うことができないと判断した場合、主催者は競技を中止します。市街地や里山で行うロゲイニング大会より中止になる確率が格段に高いことを認識してください。

アクセス

自家用車

中央自動車道「諏訪インター」から車で 30 分。

駐車場：会場広場に隣接して第 1 駐車場、および会場から 200m の場所に第 2 駐車場があります。（無料）

第 1 駐車場は会場スペース横ですが、明確な仕切りはありません。会場スペース近くに駐車してある自家用車には運営の状況により場所の移動をお願いします。移動依頼には必ず応じてください。

霧ヶ峰高原地区に宿泊予定の方はなるべく宿舎に車を置いて徒歩で来場ください。

公共交通機関

JR 中央線「上諏訪駅」諏訪湖口より霧ヶ峰方面行きバスに乗って 34 分。バス停「強清水（こわしみず）」下車すぐ。（¥960）

上諏訪駅諏訪湖口 09:30→強清水 10:04

上諏訪駅諏訪湖口 10:35→強清水 11:09

上諏訪駅諏訪湖口 13:40→強清水 14:14

強清水発 11:34→上諏訪駅着 12:05

強清水発 13:19→上諏訪駅着 13:50

強清水発 15:24→上諏訪駅着 15:55

会場

- ・青空会場です。
- ・会場から 300m 離れた霧ヶ峰体育館を荷物置場として開放します。荷物紛失について主催者は責任をとりません。
- ・公衆トイレが会場内にあります。
- ・足洗い場は会場にありません。

競技の流れ

7:30-8:30 ソロの部受付

7:30-9:00 チームの部受付

- ・提出物 出走申告書（会場に備えておきます）
（申告内容：ID、参加クラス、チーム名、代表者氏名、代表者携帯電話番号）
- ・配布物 ナンバーカード（人数分）
E-card（チームに 1 個）

出走申告書と引き換えに配布物をお渡しします。ナンバーカードを衣類へ留める安全ピンは各自でご用意ください。本部に安全ピン若干数を用意しておきます。

公式掲示板（霧ヶ峰トイレ前）

プログラムの発行以降に発生したお知らせは、霧ヶ峰トイレ前に設置する公式掲示板に掲示します。競技参加前に必ず掲示内容を確認してください。

8:30 開会式・競技説明

- ・簡単な開会式と競技説明を行います。
プログラムを読んできていただいていること、公式掲示板の内容を理解していることを前提に、さらに変更点と注意点のみの説明とします。

8:40 ソロの部スタートコール・地図配布

- ・スタート 20 分前までにスタート地区に集合してください。ナンバーカードの順に並んでください。並ぶときの間隔を 2m 以上とします。
- ・スタート地区に入る時に以下の確認を行います。
ナンバーカードのチェック
E-card のチェック
E-card の起動（アクティベート）
- ・スタートエリアに入る際に E-card を起動してください。E-card の起動は参加者が責任をもって行ってください。E-card の起動ができなかった場合は記録が残りません。
- ・E-card のアクティベート方法
E-card をスタートユニット（起動専用ユニット）に奥まではめ込みます。確実にアクティベートするために上から手を添えて **5 秒間** 押さえてください。E-card の片面にあるバックアップラベル（紙ラベル）にスタートユニットのスタッド穴が確実に空いていることを確認してください。
確実にアクティベートする目安として、スタートユニットの LED が **5 回点滅** することを確認させていただきます。
例年、アクティベート不良が数件報告されています。円滑な運営のためにご協力をお願いします。
- ・上記のチェックが済みましたら、スタート地区として周囲をテープで囲まれた範囲に入ってください。
- ・スタートエリアに入ったチームに対して、順に地図を配布します。（1 人 1 枚）密集を避けるために地図配布に時差が生じます。ご協力をお願いします。
- ・地図を受け取っても合図があるまで地図面を見ないでください。紳士協定をお願いします。
- ・この地図を観客等に見せることを禁止します。

9:00 ソロの部スタート

- ・ソロの部は 9:00 に一斉スタートします。
- ・スタート後はフィニッシュするまで競技中となります。競技時間中、一旦会場に戻って休憩されても構いません。競技を中断し、無連絡で帰宅しないようにお願いします。このときは未帰還チームとして扱われ、検索の対象となります。

給水・給食

- ・競技中の給水・給食は参加者にて準備願います。
- ・競技中の飲食物の購入は自由です。自動販売機の位置とトイレの位置を地図上に表記します。

9:05 チームの部スタートコール・地図配布

- ・ソロの部に準じて行います。
- ・地図を受け取っても合図があるまで地図面を見ないでください。紳士協定をお願いします。

9:30 チームの部スタート

- ・ソロの部に準じて行います。
- ・チーム構成員はスタートからフィニッシュするまで一緒に行動しなくてはなりません。目安としてチーム全員が 30m 以上離れないように行動してください。チームが分離して行動することはチーム戦の趣旨に反しますので謹んでください。競技終了後、主催者はチームが戻ってきたかどうかの確認だけを行います。チーム内メンバー全員の帰還確認はチーム内部で確認をしてください。

- 12:00 フィニッシュ (ソロの部)

- ・ソロの部のフィニッシュは 11:30-12:15 の間に行ってください。それ以外の時刻にフィニッシュしたいかたは役員まで申し出てください。

- 13:30 フィニッシュ (チームの部)

- ・チームの部のフィニッシュは 13:00-13:45 の間に行ってください。それ以外の時刻にフィニッシュしたいかたは役員まで申し出てください。
- ・チームは必ず全員揃ってフィニッシュしてください。

フィニッシュ (ソロ・チームとも)

- ・フィニッシュ時に、必ず会場にあるフィニッシュコントロールに E-card を嵌め込んでください。霧ヶ峰ロゲイニングではこれを必須のルールとします。チームメンバーでしっかり確認しあってください。
- ・会場にあるフィニッシュコントロールに E-card をはめ込んだ瞬間をフィニッシュタイムとします。
- ・フィニッシュコントロールにカードを嵌め込まず、先にカード読み取りを行ったチームは失格とします。(フィニッシュコントロールを通らない E-card は正常に結果が読み取れません)
- ・制限時刻直前は多くの参加者で混雑します。時間にゆとりをもってフィニッシュしてください。(密集防止)
- ・制限時刻 3 分前からフィニッシュでの写真撮影は禁止します。(密集防止)
- ・フィニッシュ役員に写真撮影を依頼することは禁止します。(密

集防止)

- ・フィニッシュ後すぐに E-card からデータの読み取りを行います。E-card はここで回収します。必ず読み取り場所まで来てください。
- ・フィニッシュは制限時間の 15 分後には閉鎖します。どんなに遅刻してもこの時間までには必ず戻ってきてください。

結果速報

- ・競技結果速報をネット上 Lap Center にて公開します。

<https://mulka2.com/lapcenter/>



表彰式

各クラス上位 3 チームを表彰します。

フィニッシュ後

3 年前まで実施していました、フィニッシュ後のトン汁サービスは行いません。また、温泉券の無料配布も行いません。(新型コロナウイルス感染予防)
2023 年大会からは実施を計画しています。

競技の説明

競技の概要

- ・フィールド内に 30 個のコントロール (目標場所) を設定します。それぞれのコントロールを通過すると得点が与えられます。ソロのクラスは 3 時間、チームクラスは 4 時間の制限時間内にどれだけ得点を得ることができるかを競います。
- ・コントロールを示す地図を競技前に配布します。地図を見ながら、作戦を考え、自分たちの力で巡ってください。
- ・この競技は一般の交通ルールや社会マナーを守った上に得点ルールを重ねたものです。交通ルールを守り、安全に競技してください。
- ・チームはスタートしてからフィニッシュするまで必ず一緒に行動してください。原則としてすべてのメンバー間の距離が 30m 以内になるように行動してください。(肉声が届く範囲を目安としています)

コース

コントロール数は 30 箇所。コントロール番号がそのままコントロール得点になります。

最低得点コントロール：31 点 / 最高得点コントロール：151 点
すべてのコントロールの得点総合計：2001 点。

制限時間に間に合わなかった場合は、超過時間 1 秒から 60 秒まで 100 点の減点となります。その後 1 分超過するごとに 100 点ずつ減点されます。

通過証明方式

EMIT 社の電子パンチ方式を採用。
(参加者は E-card を使用)

競技中の移動手段

- ・移動手段は歩行または走行とします。
- ・一切の乗り物は使用禁止です。

給水・給食

- ・給水所は特に用意しません。給水・給食は参加者にて準備願います。
- ・競技中の飲食物の購入は自由です。トレイン（競技地域）には観光道路ビーナスラインがあり、ところどころに売店などがあります。ただし数は少ないです。すべて営業しているとは限りません。必要な水と食料はスタートから各自持参してください。

禁止事項

下記禁止事項を行った場合、チーム全体を失格とします。

- ・受付してそのまま出走しないことは禁止。
出走しない場合は直ちに E-card を受付に返却してください。
E-card がフィニッシュに返却されることが、競技からの帰還確認とみなしています。
- ・出走申告書提出内容からの無断変更。
- ・競技を中断し、無連絡で帰宅することは禁止。（安全上の問題）
- ・競技時間を 15 分以上超えることは禁止。（安全上の問題）
- ・携帯電話などの連絡手段を持たず、出走することは禁止。（安全上の問題）
- ・人道トンネルを走って通過することは禁止。（安全上の問題）
（歩いて通行してください。トンネル頭上にボルトが出ています。注意してください。）
- ・霧ヶ峰を散策中のハイカーを脅かすような追い越しやすれ違いを行うことは禁止（登山道でのマナー）
- ・競技中にゴミを捨てることは禁止。（山林でのマナー）
- ・ペットなど動物を連れて競技することは禁止。（霧ヶ峰でのマナー）
- ・防獣柵（鹿柵）のゲートを開けたまま閉めないことは禁止。
（里山のマナー）

- ・草原/湿原に立ち入ることは禁止。（草原/湿原の保護）
（法に基づいた保護区域があります）
- ・地図上に立入禁止が表示されている道の利用は禁止。
- ・木道があるトレイルで、木道を外れて走る、歩くことは禁止。
（湿原の保護）
- ・草原や林を、道を使わずに直進して通過することは禁止
（ただし 5m 程度の道の乗り換えは除く）
- ・木道上を走ることは禁止。（木道上は歩行のみ）（木道の保護・他の利用者の保護）
（地図上には木道が特殊記号で表記してあります）
- ・金属ピン付シューズの利用は禁止。（木道の保護）
- ・走行禁止表記されている小道を走行することは禁止。（歩行指定遊歩道）
- ・徒歩以外の移動手段を使用することは禁止。（霧ヶ峰ロゲイニングの競技ルール）
- ・グループ以外の者の補助を得ることは禁止。（救急時を除く）
（霧ヶ峰ロゲイニングの競技ルール）
- ・チームメンバーが別れて行動することは禁止（救急時を除く）
- ・マイ E-card 利用の禁止。（主催者が支給する E-card を使用してください。）（運営の都合）
- ・フィニッシュコントロールで E-card を嵌め込まずにカード読み取り所でカードを読み取ることを禁止（運営の都合）
- ・フィニッシュ指定時刻以外の時刻に、申告なくフィニッシュすることは禁止。（運営の都合）

競技中に出たゴミの処理についての詳細

競技中に出たゴミを捨てるのが許されるのは以下の場合のみです。それ以外は所持してスタートしたものはすべて持ってフィニッシュしてください。

- ・自分のチームのマイカーに立ち寄って不要物を車内に置く場合。
- ・自分が宿泊した宿や会場に立ち寄って、置いてきた自分の荷物の中に不要物を入れる場合。
- ・競技中に購入したものの容器を、購入した場所に引き渡す場合。

環境への配慮について

高山植物は踏みつけに弱いため保護が必要です。

特に標高の高い部分には立入禁止の立看が多くあります。ただし以下の箇所については道以外の場所への立入が可能です。

- ・5 メートル以内で近接する道の乗り換えで、立入禁止の看板や柵がない箇所。（競技範囲内では、このような箇所は数箇所に限定されます）

湿原への侵入は禁止します。

木道があるトレイルでは必ず木道の上を通過してください。木道を外れて走る、歩くことは謹んでください。（霧ヶ峰一帯

の湿原には貴重な野性植物が分布しています)

八島ヶ原湿原木道の通行を禁止します。

八島ヶ原湿原木道周辺にはコントロールを設定していません。この木道は多くの観光客が散策や自然観察を楽しまれています。八島湿原木道は競技開始前、競技終了後にゆっくりと歩いて散策してください。

木道上を走ることは禁止します。

木道上は歩行のみ可とします。地図上には木道が特殊記号で表記してあります。(地図例参照)

木道は地元観光資産です。多くの観光客やハイカーと木道を共同でお互い気持ちよく利用するために、木道では走らずに歩いてください。木道による移動時間の変化を考慮のうえ行動を決定してください。

木道上を走行した人がいるチームはチーム全体を失格扱いとさせていただきます。

許可事項

- ・防獣柵（鹿柵）のゲートを開けて通過すること。ただし、通過直後にゲートを閉めることが通過の条件です。
- ・ナビゲーション補助用具は使用できます。
(コンパス、GPS、高度計、距離計など)

競技中の注意事項（強調事項）

人道トンネル内の走行は禁止

競技域の中では人道トンネルは1箇所しか存在しません。長さは10mです。(ビーナスラインの下を抜けるだけの長さです。)しかし、このトンネル内は天井が低く、しかも天上に突起物があります。これが頭に接触すると大変危険です。人道トンネル内は安全に、慎重に歩行して通過してください。

草原内・森林内ともに直進は禁止

霧ヶ峰ロゲイニング競技中は、すべて地図に書かれた道を通って競技してください。道でないところを直進しての競技は禁止です。

霧ヶ峰ロゲイニングの競技フィールドには立入りが制限された草原と、立入制限のない森林部が含まれます。霧ヶ峰ロゲイニング競技は「地図に書かれた道以外は通行禁止」をルールとして運用することによって、立入制限された場所に踏み入ることがない仕組みになっています。

また、コース設定においても「地図に書かれた道以外は通行禁止」を守ることを前提に、競技戦略的に最適なコースを設定しています。

このため、立入制限が無さそうに思える森林部においても、霧ヶ峰ロゲイニング競技中は「地図に書かれた道以外は通行禁止」

を徹底して守っていただくようお願いします。

鹿よけ柵について

小道を遮るように鹿よけ柵が設けられている箇所があります。出入口の扉をあけて静かに通過してください。通過後は必ず静かに閉めてください。決して強度的に強い柵ではありません。丁寧に開閉してください。

鹿よけ電柵について

草原を囲むように鹿よけ電柵が多数設置されています。電柵を乗り越えるコース設定にはなっていません。電柵を越えないようにしてください。また電柵に触らないでください。感電します。

装備

参加者に必ず準備いただく装備

携帯電話：

チームに1台。参加者で用意してください。緊急連絡用です。電池切れを起こさないよう、十分な充電と余裕のある使用方法をお願いします。当日の受付時に携帯電話番号申告書を提出していただきます。

安全ピン：

ナンバーカード取り付け用。

忘れたかた用に安全ピンを本部に若干数を用意します。

参加者に準備いただく装備

コンパス：参加者でご用意ください。

ファーストエイドキット、水、行動食、雨具、お金など

服装

- ・濡れたり汚れたりしてもよい服と靴でご参加ください。
- ・イバラ道を通るルートでも破れない服装。
- ・半裸での出走は禁止します。
- ・金属ピン付シューズの利用は禁止します。(木道の保護)

主催者が準備する装備

受付で渡すもの

出走申告書と引き換えに、下記セットをチーム毎に渡します。この引き換えが参加確認を兼ねています。他のチームのセットはお渡ししません。

・E-card：各1個/チーム

競技者に貸与します。フィニッシュ後に回収します。

紛失しないよう、取り扱いに気を付けてください。紛失した場合は弁償していただきます。1個6,000円。

競技中は必ず携帯してください。

・ナンバーカード：各1枚/人

競技中は必ず、体・またはザックの見える場所につけてください。

スタート直前に支給するもの

- ・地図 1 枚/人（ポリ袋入り）
- 返却は不要です。

E-card について

本ロゲイニング競技では Emit 社の E-card を通過証明に使用します。

E-card をコントロールにあるユニットに勘合することで、E-card 内部に電子記録が保存されます。フィニッシュ後、この E-card 内部の電子記録を読み出すことで記録の集計を行います。

使い方は公共交通機関で使用されている電子カードに近いです。（タッチアンドゴー方式）（Suica、Pasma、Icocca など）ただ、通過時に音によるフィードバック（反応）はありません。最初は不安に思いますが、大丈夫です。きちんとカードをユニットに勘合すれば、まず正確に記録が残ります。万が一電子記録が残らなかったときの保険として、電子記録と同時にバックアップラベル（紙ラベル）に通過記録を示す穴が残るしくみになっています。

E-card の特徴として、確実な起動に時間がかかります。スタート前に起動ユニットに 5 秒間嵌め込んでください。起動ユニットの LED ランプが 5 回点滅することを確認してください。

競技者の中にはこれらのシステムを何度も利用しているかたがいます。参加者同士で質問し教えあってください。

地図の説明

サイズ B4 / 縮尺 1;20,000 / 等高線間隔 10m
地図記号はオリエンテーリング用地図作成基準に準じる。

特殊地図記号として以下のものを使用する。

赤の破線：走行禁止の小道（歩行のみ可・走行不可）
（木道や走行禁止の遊歩道が該当）

「WC」：公衆トイレ

コップマーク：自動飲料販売機設置 場所

○（黒）：パーマメントコースのコントロール

○（赤）：ベンチ

○に・（黒）：記念碑、石仏など

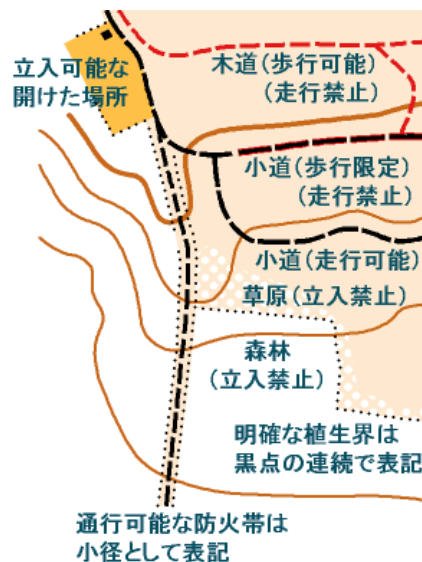
×（黒）：小さな神社

*（赤）：道標

×××（パープル）：通行禁止の道（保護区・立入禁止道路）

地図上、薄い黄色で表記された部分が「草原」になります。草原と道のない森の中への立入は禁止します。

濃いオレンジ色で表記された部分（オープン）は、人間の立入使用が目的の場所になります。



地図の上側が磁北になるように作成しています。真北とは約 7 度傾いています。

競技範囲：おおそ 6km×4km の範囲

最東端：殿城山

最北端：ブランシェたかやまスキー場上

最西端：バス停「大曲」

最南端：「池のくるみ」（踊場湿原）

最低標高：バス停「大曲」標高 1450m

最高標高：車山山頂 標高 1925m

その他

競技中止の方針

大会は以下の場合中止することがあります。その場合でも参加費の返却は行いません。

- ・競技できる天候ではない場合
（中止の目安は気象上の警報発令時）
- ・長野県諏訪市を含む地域に緊急事態宣言、またはまん延防止法の適用が発出された場合、
- ・参加者の大半が参加できない状態になった場合
（気象、交通、緊急事態宣言、その他）
- ・天変地異、感染症の蔓延などの理由により、会場が利用不能になった場合、あるいは地元から開催中止の要望が出た場合。
- ・最終的にはプロデューサーが現場で判断します。
- ・競技中止の場合も参加者個別への通知は行いません。現地でのアナウンスのみとします。電話での個別の問い合わせがあったときは対応します。

免責事項

- ・参加者は良好な健康状態で参加してください。
- ・万一事故等が発生した場合、主催者が加入している傷害保

険の範囲内及び現場での応急処置以外の責任は負いません。

- ・大会中の映像や写真をラジオ、テレビ、新聞等のメディア及び主催者ホームページ等へ使用する権利は主催者に属します。
- ・大会会場における事故や盗難等について、主催者は一切の責任を負いません。

シリーズ戦対象大会

ナビゲーションゲームズ 2022 のシリーズ戦対象大会となります。本大会の結果に従ってシリーズポイントが得られます。ナビゲーションゲームズ 2022 は日本オリエンテリング協会がとりまとめるロゲイニングのシリーズ戦です。

ナビゲーションゲームズ 2022 のランキングページでは、本イベントに参加したかたの氏名、性別、ジュニア・シニアカテゴリが掲載されます。



霧ヶ峰ロゲイニング 2022 概要

日時：2022 年 7 月 3 日（日）雨天決行・荒天中止

会場：霧ヶ峰スキー場ファミリーグレンデ（諏訪市強清水）

主催：諏訪市オリエンテリング協会

長野県オリエンテリング協会

協力：公益社団法人日本オリエンテリング協会

大会プロデューサー：木村佳司

事務局：木村佳司 kimurakeishi11@gmail.com

090-3333-0893

参加クラス

チームの部（競技時間 4 時間）（2-5 名）

（JOA ナビゲーションゲームズ 2022 対象クラス）

家族、混合、女子、男子

ソロの部（競技時間 3 時間）：女子ソロ、男子ソロ

霧ヶ峰ロゲイニング 2022 エントリーリスト

ID	クラス	チーム名(氏名)	メンバー1	性	メンバー2	性	メンバー3	性	メンバー4	性
101	家族	りょうはレストラン	紺野 佳代子	女	紺野 凌佑	男	紺野 暖人	男		
102	家族	ナンショー	高橋 美和	女	本間 美希	女	影山 透士	男		
103	家族	OLP 石井家	石井 泰朗	男	石井 袖花	女	石井 百花	女		
104	家族	ペコペコじら	桑内 義博	男	桑内 颯士	男	桑内 葵	男		
105	家族	油淋鶏ーむ	桐澤 明	男	松田 有理	男	松田 しのぶ	女		
106	家族	ハルタカ	山本 高士	男	山本 晴士	男				
107	家族	ももいろ大福	遠藤 希巳江	女	遠藤 凧	男				
108	家族	チーム・カカボラジ	増田 康	男	増田 楓	女				
109	家族	ぞんび〜ず	小野田 剛太	男	小野田 響	男				
110	家族	ときわ走林会	八尋 弓枝	女	阿久津 奈生	女				
111	家族	チームセイサクショ	宮坂 敏行	男	宮坂 文晴	男				
112	家族	ピノキオ	宮坂 小百合	女	宮坂 晴海	女				
113	家族	キラキラあきら	黒川 彩子	女	黒川 暁	男				
114	家族	JACKPOT	黒川 英郎	男	黒川 陽	男				
201	混合	生大3つ	安藤 雅夫	男	筆谷 浩司	男	鈴木 美穂子	女		
202	混合	チーム遠足	大澤 貴子	女	渡辺 達也	男				
203	混合	ロゲ好き	堀籠 宏章	男	原 真理	女				
204	混合	のりちか	得永 慶	男	岩井 紀子	女				
205	混合	サチコバ	小林 雅行	男	鳥谷 幸子	女				
206	混合	伊藤ビル 801	長谷川 真子	女	長谷川 雄大	男				
207	混合	Azzurri	八隅 豊正	男	時森 あづさ	女				
208	混合	KYくらぶ	神山 豊	男	杉野 恵子	女				
209	混合	津島家	津島 明子	女	津島 直樹	男				
210	混合	向井家	福田 雅弥	男	大石 遥	女				
211	混合	甥大好き bot	高橋 友理奈	女	長岡 凌生	男				
212	混合	ロタネル	中野 歩	女	中野 裕樹	男				
213	混合	かんれぼ	新保 裕也	男	田邊 カレン	女				
214	混合	加波一族 紫組	久保 和彦	男	富澤 いずみ	女				
215	混合	ぼんぼんナマステ	水野 雄一朗	男	水野 舞	女				
216	混合	アレンモク	金山 航	男	梅沢 美代子	女				
217	混合	CGH	佐藤 鋲治	男	佐藤 かおる	女				
218	混合	KUMAKICHI	半田 太郎	男	半田 博子	女				
219	混合	コタロー	豊沢 吉弥	男	豊沢 弥生	女				
301	女子	ももくりひとみ	栗栖 志穂	女	桃井 敦子	女	佐藤 仁美	女		
302	女子	鳩の会	津田 春菜	女	平井 はるな	女	小山 智子	女		
303	女子	カナミン、	香田 美由起	女	若林 加奈子	女				
304	女子	ネルスシスターズ	稲森 夕衣	女	漆原 夏子	女				
305	女子	チーム QOL	吉池 京子	女	杉山 千夏	女				
306	女子	つくしまめ	吉田 晴美	女	降旗 久代	女				
307	女子	ラーメン大学	河野 珠里亜	女	井村 唯	女				
308	女子	ナオメグ	平野 奈緒子	女	坂田 めぐみ	女				
309	女子	Team Hoi Hoi B&J	北原 淳子	女	川淵 妙子	女				
401	男子	信大ポレランクラブ	大坪 梓	男	二村 剛史	男	雨宮 純馬	男	太田 傑	男
402	男子	SM@P	矢島 健一郎	男	宮田 輝男	男	吉澤 万水	男	田尻 憲一	男
403	男子	太尾連合 A	遠藤 力	男	森本 真徳	男	高橋 博威	男		

404	男子	ルーパー	大村 拓磨	男	菅谷 裕志	男	前田 悠作	男		
405	男子	藤沢と愉快的仲間	伊藤 滉太	男	半沢 航大	男	藤村 晋也	男		
406	男子	UC	大日方 信光	男	大日方 威光	男				
407	男子	止まるんじゃねぞ…	原 利昭	男	原 真理	男				
408	男子	ランニングクラブ	古川 真跳	男	八巻 伶門	男				
409	男子	チームつくし	吉田 宗生	男	山本 多佳士	男				
410	男子	忍者海賊ミンク侍同盟	鹿島 健人	男	鈴木 皓紀	男				
411	男子	太尾連合 B	木村 洋	男	菅田 和秀	男				
412	男子	カこそパワー系男子	青田 正樹	男	佐々木 達也	男				
413	男子	スナコウ	平野 順	男	笹田 浩一	男				
414	男子	山ラン	三森 弘満	男	小林 睦	男				
415	男子	チーム水曜高尾練	大野 恭平	男	西山 亨	男				
501	ソロ女子	古家 ひとみ	古家 ひとみ	女						
502	ソロ女子	石川 由佳子	石川 由佳子	女						
503	ソロ女子	長澤 静代	長澤 静代	女						
504	ソロ女子	三宅 彩香	三宅 彩香	女						
505	ソロ女子	池田 麻子	池田 麻子	女						
506	ソロ女子	高橋 明美	高橋 明美	女						
507	ソロ女子	田中 洋江	田中 洋江	女						
508	ソロ女子	酒井 悦子	酒井 悦子	女						
601	ソロ男子	伊藤 夏生	伊藤 夏生	男						
602	ソロ男子	伊藤 和生	伊藤 和生	男						
603	ソロ男子	長谷川 誠二	長谷川 誠二	男						
604	ソロ男子	伊藤 拓美	伊藤 拓美	男						
605	ソロ男子	諸岡 功一	諸岡 功一	男						
606	ソロ男子	佐藤 信彦	佐藤 信彦	男						
607	ソロ男子	塩入 央尚	塩入 央尚	男						
608	ソロ男子	佐藤 大樹	佐藤 大樹	男						
609	ソロ男子	川口 正洋	川口 正洋	男						
610	ソロ男子	紺野 俊介	紺野 俊介	男						
611	ソロ男子	斎藤 康弘	斎藤 康弘	男						
612	ソロ男子	藤原 三郎	藤原 三郎	男						
613	ソロ男子	水谷 公洋	水谷 公洋	男						
614	ソロ男子	岩村 洋一	岩村 洋一	男						
615	ソロ男子	永池 良行	永池 良行	男						
616	ソロ男子	藤生 考志	藤生 考志	男						
617	ソロ男子	弘重 正顕	弘重 正顕	男						
618	ソロ男子	柿野 誠	柿野 誠	男						
619	ソロ男子	石山 良太	石山 良太	男						
620	ソロ男子	池原 純一	池原 純一	男						
621	ソロ男子	伊藤 太地	伊藤 太地	男						
622	ソロ男子	設楽 篤史	設楽 篤史	男						
623	ソロ男子	戸塚 祐介	戸塚 祐介	男						
624	ソロ男子	藤岡 克利	藤岡 克利	男						
625	ソロ男子	山口 俊幸	山口 俊幸	男						
626	ソロ男子	下條 史	下條 史	男						
627	ソロ男子	田中 悠	田中 悠	男						

628	ソ口男子	板谷 日出男	板谷 日出男	男						
629	ソ口男子	秋元 賢吾	秋元 賢吾	男						
630	ソ口男子	山川 晋弥	山川 晋弥	男						
631	ソ口男子	後藤 正博	後藤 正博	男						
632	ソ口男子	久保 浩亮	久保 浩亮	男						
633	ソ口男子	福田 雅秀	福田 雅秀	男						
634	ソ口男子	内藤 愉孝	内藤 愉孝	男						
635	ソ口男子	伊藤 頌太	伊藤 頌太	男						